

★地方創生関連交付金を活用したR7年度事業における交付金の具体的な使途等について

事業名	事業期間	R7年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途（申請時点）	対象経費 (千円)
いわて加速器関連産業振興事業	R4-8年度	21,156	10,578	岩手県が地方創生の基本目標の一つに掲げる「岩手で働く」の実現に資するため、新たな成長産業として振興を目指す加速器関連産業への参入を進め、本県のものでつくり産業の生産性の向上、新たなサービスや製品開発などイノベーションの創出による県民の所得向上や質の高い雇用機会の拡大を図るとともに、県内の学生等に加速器の高度な技術に触れる機会を提供することで、本県のものでつくり産業全体の人材の育成と確保、定着の好循環を実現する。 【事業実施体制】 下記事業者に委託し、事業を実施。 ・公益財団法人いわて産業振興センター	加速器関連産業参入促進支援事業 【加速器関連産業参入促進支援事業（委託料：21,156千円）】 ※委託先：公益財団法人いわて産業振興センター (1) 専門家によるセミナー・企業向け講習会の開催（委託料（謝金、旅費）） 1,116千円 (2) コーディネーター配置による県内企業シーズ掘り起し、マッチング支援及び技術指導 コーディネーター活動費（委託料（人件費、旅費、使用料、消耗品）） 17,731千円 (3) 性能評価機器の運用（委託料（運用にかかる物品購入費）） 1,474千円 (4) 学会等への出席、研究機関との共同研究（委託料（参加費、旅費、郵送料）） 835千円	21,156
北いわてプラチナシティ推進事業	R5-7年度	4,183	2,091	「プラチナ社会」をモデルに、バイオマス資源の活用などの先進的な経済循環モデルの構築、産学官で構成されるコンソーシアムの運営を通じて、北いわてを自律的な課題解決と成長が好循環する持続可能な地域へと革新する。 【事業実施体制】 「北いわて産業・社会革新推進コンソーシアム」を活用し、事業を実施。 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・manordaいわて㈱	北いわてにおけるバイオマス資源活用推進事業 (1) 木質バイオマスのうち「バイオ炭」を生かした地域内エコシステムの構築 2,318千円（報償費272千円、旅費581千円、使用料112千円、委託料1,353千円） ※委託先：manordaいわて（株） ・北いわて地域での脱炭素化やバイオマス資源を活用した経済循環モデル構築に向けて、専門家による企業訪問を通じた個別支援を実施し、実装化につなげるもの。2025年は、2024年から地元企業との連携により具体的な取組が進む「バイオ炭」を生かしたビジネスモデルの実装を加速するため、専門家による講演・助言を行う。また、炭素貯留した土壌で育てた野菜の市場流通を推進するため、少量によるテストマーケティングの一環としてレストランフェア等のイベントを委託事業として実施し、飲食店や消費者の反応を調査する。 (2) プラチナ構想ネットワーク派遣講師等による研修会及び個別支援 698千円（報償費333千円、旅費338千円、使用料27千円） ・地域が目指すべき将来像策定や地域の将来を担う人材育成を図るため、ワークショップや企業向けのESG研修会等を実施するもの。また、具体的なビジネスへとつなげるため、専門家による個別支援を行う。	3,016
					北いわて産業・社会革新推進コンソーシアムの運営 「北いわて産業・社会革新推進コンソーシアム」の機能を活用し、地域課題の解決に向けた先進的な取組事例の発表を通じて、ノウハウの共有や横展開を図る。2025年は、コンソーシアムの自立に向けて、2021年設立以降の活動成果を振り返り、目的・推進体制・社会的意義を改めて共有する。 (1) シンポジウムや勉強会の開催 793千円（報償費259千円、旅費373千円、需用費20千円、使用料141千円） (2) プラチナ社会に関する取組について、専門家による個別企業等を支援 374千円（報償費304千円、旅費70千円）	1,167
デジタル人材の育成・起業支援事業	R5-7年度	22,309	11,154	DXの推進のため、デジタル人材の育成に加えて、起業や地域定着に至るまでを切れ目なく支援することによって、デジタル技術を活用した競争力のある企業をつくり、地域全体としてDXを進展させ、地域経済への好循環を生みだすもの。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・㈱ネクスト ・㈱イノベーションラボ岩手 ・㈱ＪＴＢ盛岡支店 ・川口印刷工業㈱ ・㈱イノベーションラボ岩手	デジタルリスキングプログラム（DRP）の提供 リスキリングによる企業等のDX推進の核となりうるデジタル人材の育成や、地域のDX推進を図る。 労働者等の創出を目指し、段階に応じたプログラムを提供する。 DRPの提供 委託料 8,470千円 ※委託先：㈱ネクスト (1) デジタルスキルアップセミナー（経営者層・労働者層向けセミナー）初級：１日×４テーマ×各２回 デジタル化アクションプランコース、ペーパーレス・デジタル化推進コース等４テーマを設定し、リスキリングを推進する。 (2) デジタルスキルアップセミナー（経営者層・労働者層向けセミナー）中級：２日×２テーマ×各２回 自走誘導のためにデジタル導入・ロードマップ作成コース等２テーマを設定し、リスキリングを推進する。 ※ いずれもオンラインによる受講を可能とする。	8,470
					AⅠ人材育成・社会実証推進事業 県内機関等と連携し、知識・技術レベルや習熟度・理解度に応じたAⅠ人材育成講座を開催するとともに、地域におけるAⅠ利活用を進めるため、産学官連携による研究会を開催し、AⅠ社会実証を推進する。また、東京大学松尾研究室や香川高専とのつながりを生かし、県内の高等教育機関が、地域課題や企業の経営課題解決に資するAI技術の利活用促進や、AⅠ技術による事業創出を支援し、学生等のAⅠ人材の地域への定着を促進する。 (1) 人材育成事業 61千円（講師謝金、旅費等61千円） (2) AⅠ人材起業促進事業 2,000千円 ・県内企業と連携したAI利活用や新規事業創出に係る補助 1,000千円 補助目的：地域課題や、企業の経営課題解決に向け、学生が立案したAI利活用のアイデアの実現性を評価するための試作品開発経費を補助することにより研究開発を進め、地域課題や企業の経営課題解決に資するAⅠ技術の利活用促進や、AⅠ技術による事業創出を支援し、学生等のAⅠ人材の地域への定着を促進する。 補助対象者：県内高等教育機関、補助上限額等：500千円（定額）×２か所 ・高専起業の機運醸成のため、東大松尾研・高専機構と連携し、高専起業家の交流によるメンタリングプログラムを開催する費用の補助 1,000千円 (3) 社会実証事業 462千円（講師謝金、会場使用料等462千円）	
					起業・スタートアップ支援 (1) 起業、スタートアップ支援事業 8,721千円 起業に係る支援制度やニーズを有する組織をメンバーとして「いわてスタートアップ推進プラットフォーム」を設置し、市町村や金融機関、産業支援機関、大学をはじめとした県内の様々な主体との連携を強化し、起業のステージやパターンに適したプログラムの提供により起業家を支援する。 ・アクセラレーションプログラムの実施 委託料3,963千円 ※委託先：㈱イノベーションラボ岩手 なお、３年目は、１年目、２年目の支援対象者が先輩起業家（アルムナイ）として、後輩起業家へフォローアップを行うほか、２年目の支援対象者が次の成長ステージに進むために、より高度化を目指すコースを設定して実施する。また、１年目、２年目、３年目の支援対象者及びプラットフォームにつながっている起業家によるコミュニティ形成を図る。 ① 対象社：10社程度（新規７社、２年目支援者から高度化３社） ② 内容：メンタリングプログラム、組織体制強化支援、ビッグ大会開催等マッチング支援、コミュニティ形成等 ・スタートアップ成長・海外展開支援 委託料3,380千円 ※委託先：㈱ＪＴＢ盛岡支店 県内スタートアップの成長・海外展開に向け、海外ベンチャーキャピタリストを招聘し、海外展開を目指す県内スタートアップの事業実施状況の現地視察を行うとともに、海外展開に向けた事業計画・資金調達・人材育成等に関する助言を得ることにより海外展開を促進する。 ・プラットフォーム連絡会議の開催、仙台市等先進自治体との連携 使用料83千円 プラットフォームメンバーとの連絡会議を開催し、情報共有とシームレスな連携を行う体制を構築する。また、仙台市等先進自治体への連携強化により、事業効果の拡大を図る。 ・いわてスタートアップ推進プラットフォームポータルサイト運用・起業家情報発信支援業務委託 委託料 1,295千円 ※委託先：川口印刷工業㈱ １年目に作成したポータルサイトを継続運用するとともに、起業家の紹介記事等を作成・発信することにより、起業家のPR支援を行う。 (2) 学生・若者への起業家教育プログラム及び実践的研修の実施 委託料2,349千円 ※委託先：㈱イノベーションラボ岩手 起業・スタートアップ育成のため、起業間近な者から起業５年以内の者を対象とし、事業の拡大に必要な知識を学習する実践的な研修を行う。（内容：企業経営に必要な知識（事業計画策定、企業会計等）） また、地域経済の中核を担う経営人材を育成するため、県内の大学生や若手社会人を対象として、実践的な起業家教育を行うとともに、「若手イノベーションベース」と連携した起業家予備軍への支援を行う。 ① 対象：県内高等教育機関の学生、県内で勤務する若手社会人及び起業家予備軍 ② 定員：15名程度 ③ 内容：座学、ワークショップのほか、起業家による講演やフィールドワークなど ほか、若手イノベーションベースと連携した起業家予備軍の勉強会、起業入門研修など (3) 市町村への起業支援アドバイザー派遣 246千円（報償費183千円、旅費63千円） 「創業支援等事業計画」に基づく市町村（又は広域）単位での創業支援の底上げや高度化を図るため、起業支援への知見を有する起業支援アドバイザーを希望する市町村に派遣し、事業計画作成や支援事業の企画・実施への助言を行う。なお、３年目は、１～２年目の助言指導を横展開しながら、効率的な全体の底上げを図る。	2,523
						11,316

事業名	事業期間	R7年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途（申請時点）	対象経費 (千円)
D X ・ G X の推進による農業水産業の生産性・市場性向上事業	R5-7年度	42,210	21,105	農業生産者の減少・高齢化に対応するために、データ駆動型農業の導入により農業の生産性・市場性の向上を図るとともに、持続可能な食料システムの構築に向けて、地球温暖化への適応や環境保全型農業を進める。また、マーケット分析に基づいた販売戦略の策定、生産者と連携しながらD X等による効率的かつ効果的な販路開拓・拡大を進める。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・ ㈱みちのくクボタ ・ オヤマダエンジニアリング㈱ ・ 岩手花平農業協同組合 ・ 農事組合法人ミルクの郷 ・ 花巻農業協同組合 ・ （一社）遠野市畜産振興公社 ・ 新岩手農業協同組合 ・ 新山牧場利用組合 ・ 農事組合法人千蔵コントラクター組合 ・ ㈱リプロネクスト ・ 岩手県産㈱ ・ 川嶋印刷㈱ ※その他、選定中	データ駆動型農業推進事業 「いわて農業D X推進連携会議」は財源面で自立した運営を見据えた推進連携を行うとともに、生産現場でのデジタル人材を育成するため、推進チームを派遣する。また、県研究機関において開発・実証した技術を農業者へ情報発信し県内への横展開を図る。 (1) データ駆動型農業の普及推進体制の強化 248千円 ①推進体制の強化 0千円（自主財源） ②技術交流会等の開催費用 248千円（技術交流会に係る講師謝金、バス・会場使用料、パンフレット印刷費） (2) データ駆動型農業に係る技術の実証・開発 10,052千円 ①自動操舵農機をフル活用した効率的な栽培体系の実証・開発 1,860千円 経営体調査謝金、調査資材費、通信費、使用料（ドローン借上、各種システム）、自動操舵農機を有するメーカーへの委託費 ※委託先：㈱みちのくクボタ ②施設果実における生育診断、出荷予測技術の実証・開発 4,978千円 経営体調査謝金、調査資材、通信費、機器点検委託費、使用料（クラウドシステム） ※委託先：オヤマダエンジニアリング㈱ ③環境制御を活用した施設野菜類の増収技術の実証・開発 調査資材費324千円 ④A I 技術を活用した省力型栽培体系の開発・実証 調査資材費、使用料（会場使用料、実証機械レンタル代）2,890千円 ※①～③：技術確立を進め、2026年度から生産現場への普及・指導（実装）に取り組む。 ※④：民間企業と連携し技術を進め、開発した機能の市販機への実装を2026年度に予定。	10,300
					地球温暖化適応品種開発プロジェクト事業 D N A マーカー等を活用し、気候変動に対応する特性を有する系統を2 以上、環境保全に対応した系統を1 以上選抜する。 (1) 気候変動に対応した系統の選抜 8,354千円 高温耐性等の特性を持つ品種候補の選抜に係る資材、試薬等消耗品、会計年度職員人件費 (2) 環境保全に対応した系統の選抜 3,876千円 病害虫抵抗性、肥料低減等の特性を持つ水稻の品種候補の選抜に係る試薬、資材費、会計年度職員人件費 (3) G I S を活用したりんご園地情報データベースの整備の促進 184千円 データベース活用研修会の実施に係る講師謝礼、講師旅費、会場使用料 (4) 温暖化に適応し市場性が高い「もも」等の作付実証 1,963千円 もも等の品種選定及びジョイント栽培による早期成園化技術の実証及びセミナーの開催に係る講師謝礼、講師旅費、会場使用料、実証に係る消耗品購入費 ※事業期間終了後の2026年度もデータの積み上げのため作付実証を継続し、得られた成果等を取りまとめ、2027年度から生産現場への普及・指導（実装）に取り組む。 (5) 果樹凍霜害対策試験の実施 1,038千円 いわて型低コスト防霜ファンなど凍霜害対策について試験を実施 凍霜害対策試験に係る資材費 ※事業最終年度末（2025年度末）に、得られた成果等を取りまとめ、2026年度から生産現場への普及・指導（実装）に取り組む。	
					(4) 温暖化に適応し市場性が高い「もも」等の作付実証 710千円（非破壊糖度計（3 台）360千円、硬度計（6 台）350千円） ※事業期間終了後の2026年度もデータの積み上げのため作付実証を継続し、成果等を取りまとめ、2027年度から生産現場への普及・指導（実装）に取り組む。 (5) 果樹凍霜害対策試験の実施 130千円（発電機（2 台）130千円） ※事業最終年度末（2025年度末）に、得られた成果等を取りまとめ、2026年度から生産現場への普及・指導（実装）に取り組む。	
					環境負荷軽減型自給飼料生産拡大事業 1 年目及び2 年目に改良を行った草地において、堆肥を活用した追肥の実証を継続し、成果の定着を図る。また、各地域で得られた成果の情報共有を行うことで、県内全域へ技術の波及を図り、畜産経営体が、得られた成果を今後の自給飼料生産の作業体系に組み込むことができる環境を整備する。 (1) 普及員等による指導等 0千円（自主財源） (2) 草地改良に係る委託費 6,800千円 ※委託先：岩手花平農業協同組合、農事組合法人ミルクの郷、花巻農業協同組合、（一社）遠野市畜産振興公社、新岩手農業協同組合（久慈宮農経営センター、宮古宮農経営センター）、新山牧場利用組合、農事組合法人千蔵コントラクター組合	
					いわて農林水産物D X販路開拓戦略推進事業 D X販路開拓・拡大戦略に基づく事業を展開するとともに、メタバースを活用した販路開拓モデルの県内への波及やデジタル人材の育成を行う。 (1) D X販路開拓・拡大戦略の作成 6,826千円 販路開拓・拡大戦略に基づく取組の実践及び検証に係る委託料 ※委託先：岩手県産㈱、川嶋印刷㈱ (2) 食の総合ポータルサイト「いわて食財倶楽部」等オンライン活用による販路開拓モデルの構築 1,546千円 メタバースを活用した県産食材販路開拓モデルの県内波及に係る使用料 ※委託先：㈱リプロネクスト (3) デジタル人材の育成 483千円 生産者のデジタルスキル及びブランディング力向上に向けたEC講座の開催に係る講師の謝金、旅費、会場使用料等 ※委託先を選定中	
					データマーケティングに基づく観光地域づくり事業 分析レポートや説明会を継続するとともに、デジタルマーケティングに基づく観光地域づくりを進めるために、各種イベントで収集した顧客情報をCRMによって「いわてファンデータベース（仮称）」を構築するほか、専門人材の派遣を通じて候補DMOから登録DMOへの移行に向けた支援等を行う。 ・ デジタルマーケティング・観光地域づくり支援（委託料） 25,432千円 ※委託先：（公財）岩手県観光協会	
					F I T 層の誘客促進に向けた観光コンテンツ造成事業 外国人観光客（個人旅行者）の誘客を促進するため、本県の魅力を磨き上げ、観光プロモーションを積極的に推進する。 ・ 観光コンテンツの磨き上げ、OTA（Online Travel Agent）等登録支援及び情報発信（委託料） 3,000千円 ・ インバウンド受入態勢支援事業（委託料） 1,266千円 ※委託先選定中	
					東北各県と連携した外国人観光客誘客プロモーションの展開 東北各県等や関係機関と連携して外国人観光客誘客プロモーションを継続・拡大する。 ・ タイ、台湾、香港、欧米市場等を対象としたプロモーション事業（報償費30千円、役務費250千円、委託料8,976千円、使用料23千円） 9,279千円 ※委託先：東北観光推進機構、㈱日本旅行東北、㈱JR東日本びゅうツーリズム&セールス、等（今後事業実施分あり）	
					インバウンド県内周遊促進事業 外国人観光客の県内周遊の促進による交流人口の拡大を図るため、海外旅行会社等との連携を強化し、いわて花巻空港及び近隣県空港を起点とする県内周遊プロモーションを展開する。 ・ いわて花巻空港の国際線就航先へのセールス等の実施（報償費60千円、使用料72千円）132千円 ・ 仙台空港新規就航路線を活用した国際線就航先へのセールス及び情報発信等の観光振興業務の実施（報償費30千円、役務費140千円、委託料500千円、使用料26千円）696千円 ※委託先：㈱mix well travel	
					文化芸術等を通じた岩手の魅力発信事業 1 年目の視聴・閲覧動向分析や事業実績を踏まえ、映像配信における出演団体（者）数の増加などコンテンツの充実を図り、本県の多様な文化芸術等の作品の制作や文化芸術活動等のデジタル配信を通じた魅力の発信及びS N S等を活用した情報発信を実施する。（委託料） 9,999千円 ※委託先：㈱テレビ岩手、㈱銀杏社、（一社）岩手県文化財愛護協会、ロントラ㈱	
関係人口・交流人口拡大事業	R6-8年度	72,730	36,365	ニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52 か所」への盛岡市の掲載効果を一過性のものとせず、県全域に波及させることで活性化につなげるため、デジタルマーケティングに基づく観光振興体制を整えるとともに、県内各地の特色ある特産品や観光コンテンツ等の地域資源を最大限に生かし、関係機関等と連携したプロモーションの展開や、W E B を活用した県産品の販売促進、S N S等を活用した本県の魅力発信等を通じて、国内外の人々との交流が広がる地域づくりを進め、国内外からの誘客と県内周遊を促進し、観光振興を図る。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・ （公財）岩手県観光協会 ・ 東北観光推進機構 ・ ㈱日本旅行東北 ・ ㈱JR東日本びゅうツーリズム&セールス ・ ㈱mix well travel ・ ㈱テレビ岩手 ・ ㈱銀杏社 ・ （一社）岩手県文化財愛護協会 ・ ロントラ㈱ ・ 楽天グループ㈱ ・ ㈱雨風太陽 ※その他選定中。	データマーケティングに基づく観光地域づくり事業 分析レポートや説明会を継続するとともに、デジタルマーケティングに基づく観光地域づくりを進めるために、各種イベントで収集した顧客情報をCRMによって「いわてファンデータベース（仮称）」を構築するほか、専門人材の派遣を通じて候補DMOから登録DMOへの移行に向けた支援等を行う。 ・ デジタルマーケティング・観光地域づくり支援（委託料） 25,432千円 ※委託先：（公財）岩手県観光協会	25,432
					F I T 層の誘客促進に向けた観光コンテンツ造成事業 外国人観光客（個人旅行者）の誘客を促進するため、本県の魅力を磨き上げ、観光プロモーションを積極的に推進する。 ・ 観光コンテンツの磨き上げ、OTA（Online Travel Agent）等登録支援及び情報発信（委託料） 3,000千円 ・ インバウンド受入態勢支援事業（委託料） 1,266千円 ※委託先選定中	
					東北各県と連携した外国人観光客誘客プロモーションの展開 東北各県等や関係機関と連携して外国人観光客誘客プロモーションを継続・拡大する。 ・ タイ、台湾、香港、欧米市場等を対象としたプロモーション事業（報償費30千円、役務費250千円、委託料8,976千円、使用料23千円） 9,279千円 ※委託先：東北観光推進機構、㈱日本旅行東北、㈱JR東日本びゅうツーリズム&セールス、等（今後事業実施分あり）	
					インバウンド県内周遊促進事業 外国人観光客の県内周遊の促進による交流人口の拡大を図るため、海外旅行会社等との連携を強化し、いわて花巻空港及び近隣県空港を起点とする県内周遊プロモーションを展開する。 ・ いわて花巻空港の国際線就航先へのセールス等の実施（報償費60千円、使用料72千円）132千円 ・ 仙台空港新規就航路線を活用した国際線就航先へのセールス及び情報発信等の観光振興業務の実施（報償費30千円、役務費140千円、委託料500千円、使用料26千円）696千円 ※委託先：㈱mix well travel	
					文化芸術等を通じた岩手の魅力発信事業 1 年目の視聴・閲覧動向分析や事業実績を踏まえ、映像配信における出演団体（者）数の増加などコンテンツの充実を図り、本県の多様な文化芸術等の作品の制作や文化芸術活動等のデジタル配信を通じた魅力の発信及びS N S等を活用した情報発信を実施する。（委託料） 9,999千円 ※委託先：㈱テレビ岩手、㈱銀杏社、（一社）岩手県文化財愛護協会、ロントラ㈱	
					地域資源を生かした県産品等のW E B 百貨店の設置 大手E Cを活用した販売促進・事業者育成・発信（委託） 11,000千円 ※委託先：楽天グループ㈱	
					海業推進モデル (1) 海業ビジネスモデルづくり支援 9,687千円 S N S等による誘客などデジタルを活用した漁村の交流人口拡大・漁業者の所得向上に関連する取組の企画コンサルティング及びモニターツアーを実施する。（委託料） ※委託先：㈱雨風太陽 (2) 海業普及啓発 355千円 海業の理解醸成を図るため、漁業者や民間団体等を対象に、全国の優良事例の紹介や課題解決に向けた意見交換などを行うシンポジウムを開催する。（報償費、旅費、需用費、使用料）	
					S N S での情報発信の質・量の向上 県民とのコミュニケーションを強化し、県民の地域づくりや県政の重要課題等に共同で取り組む意識を醸成するため、動画編集に必要な環境を整備し、タイムリーに情報を発信する。 (1) 動画編集環境等の整備（役務費317千円、使用料154千円） 471千円 (2) LINEを利用した広報及び広聴の充実（使用料） 1,413千円	

事業名	事業期間	R7年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途（申請時点）	対象経費 (千円)
移住・定住・雇用応援プロジェクト	R6-8年度	132,363	66,181	高校生・大学生に向けた岩手で働く魅力・価値の発信や、県内企業によるインターンシップへの参加促進などの取組により、若者の県内企業への就職につなげるとともに、働き方改革などによる魅力ある職場づくりを進めることにより、多種多様な業種における人材の育成・確保・定着を図る。	移住・定住応援プロジェクト【情報発信等の強化】 1 県内企業インターンシップ促進事業：総額8,692千円（委託費・補助金） ※委託先：富士通Japan(株) (1) 企業向けインターンシップセミナー 4,398千円 インターンシップ受入に係るノウハウの共有や新卒採用に係る社会情勢等に関するセミナーの実施 ※1年目の参加状況等を踏まえクラス分け（夏インターン向け：初級、中級） セミナー開催準備費（資料作成、講師謝金等） 2,994千円、会場使用料（オンライン配信含む） 214千円、開催周知費300千円、事務的経費（通信費、消耗品等） 127千円、管理費・消費税 763千円 (2) 保護者向けインターンシップセミナー 2,294千円 大学生等の保護者に、就活やインターンシップの状況に関するセミナーの実施 セミナー開催準備費（資料作成等） 1,331千円、開催周知費500千円、事務的経費（通信費、消耗品等） 65千円、管理費・消費税 398千円 (3) インターンシップ支援事業費補助金 2,000千円 インターンシップのプログラム作成（見直しも含む）する企業に、経費を支援（補助率：2/3、補助上限額400千円） 2 U・Iターン機能強化事業：総額40,445千円（需用費・役務費・委託費） ※委託先：富士通Japan（株） (1) 首都圏及び県内におけるU・Iターン就職やインターンシップの相談対応 36,004千円 ・首都圏等U・Iターン就職支援窓口の運営体制強化と県外大学の学生及び保護者に対する情報発信 ・各窓口での県外学生向けインターンシップの相談・マッチング・フォローアップ等の伴走型支援 首都圏等U・Iターン就職支援窓口運営（運営・委託費） 28,947千円、U・Iターンイベント及び県内企業情報発信60千円、管理費・消費税 6,997千円 (2) U・Iターン就職促進セミナー等の実施 1,628千円 首都圏の学生を対象にUターン就職への意識を高める「就活イベント」を実施 首都圏イベント運営費（委託費） 1,628千円 (3) U・Iターンに係る広報・情報発信 558千円 県内在住の保護者への情報発信や、二十歳のつどい等の機会を捉えた情報発信を実施し、県外に進学した学生のUターンを促進。情報発信費（需用費、役務費、委託費） 558千円 (4) 岩手U・Iターンクラブの運営・活動強化 2,255千円 県外大学との連携を目的とした「岩手U・Iターンクラブ」の運営及び、加盟大学等と県内企業とのオンライン就職情報交換会を開催することにより、岩手県外学生に県内企業の情報を届け、就職を促進。 運営費（「U・Iターンクラブ委託運営費」136千円、企画運営費（情報交換会・企業見学会） 1,639千円、加盟大学等が開催するセミナーや保護者会への参加。学内での就職促進に係るモデル事業の実施 企画運営費（モデル事業） 480千円 3 いわてとつながろう働く魅力発信事業：総額14,836千円（委託費） ※委託先：（合同）ホームシックデザイン 本県への将来的な地元定着やU・Iターン就職を促進するため、高校生・大学生に向けて岩手で働く魅力・価値を発信。Z世代が多く利用するSNSを活用し情報発信を強化。 専用ページやSNSの運用管理一式（宣伝広報、記事コンテンツの制作） 14,836千円	63,973
				移住・定住応援プロジェクト【受入態勢等の強化】 1 いわて移住・定住促進事業：総額34,701千円（報酬・報償費・旅費・役務費・委託費・使用料・負担金） (1) いわて定住・交流促進連絡協議会の活動による移住促進体制の強化 4,013千円 協議会専任職員の継続配置（SNS・ウェブサイト運用、フライヤー制作、移住相談対応等）。 (2) 首都圏での相談窓口の機能強化 15,411千円 ※委託先：（公社）ふるさと回帰・移住交流推進機構 東京・有楽町の「ふるさと回帰支援センター」への岩手県ブースの継続運用。 (3) 移住定住ポータルサイトによる情報発信 2,194千円 ※委託先：川口印刷工業(株) 総合サイトの継続運用。岩手県の基本情報のほか、支援制度・イベント情報・移住者事例などを発信。WEBマガジンやお役立ちデータ集などコンテンツを拡充。 (4) 首都圏イベントでの相談機会の創出、岩手ファン拡大 6,934千円 ※「県主催移住フェア」委託先：(株)岩手日報広告社 首都圏での「県主催移住フェア」の運営向上、他団体主催イベントへの出展、県主催移住セミナーの実施回数を増加。 (5) 移住者受入れ体制の強化・支援 1,064千円 県移住コーディネーターの活動支援、NPO団体が行う移住促進事業への補助。 (6) 首都圏での移住希望者の継続的な支援、移住前のコミュニティ形成 5,085千円 ※委託先：(株)第一プログレス 移住希望者の拡大と、移住前のコミュニティ形成を目的とした首都圏での連続講座の開催。 2 住宅ストックリノベーション事業：総額853千円（委託費）（企画・運営費500千円、講師謝金・旅費317千円、会場費36千円） ※委託先：（一財）岩手県建築住宅センター ・各市町村の空き家担当者向けに、これまで実施した移住・定住施策の効果検証や既存事業の見直しを学ぶワークショップを開催し、より効果的な施策の実行につなげる。	35,554	
				雇用応援プロジェクト【県内企業の魅力向上】 1 魅力ある職場づくり推進事業：総額1,237千円（委託費） ※委託先：富士通Japan(株) 県内企業における魅力ある職場環境づくりの推進に向けたセミナーの実施や、アドバイザー派遣による伴走型支援を実施 セミナー実施・アドバイザー派遣等実施委託費 1,237千円 人件費 886千円、周知チラシ作成費 15千円、郵送料 121千円、管理費・消費税 215千円	1,237	
				雇用応援プロジェクト【ものづくり人材の育成・確保】 1 ものづくり人材の育成・確保事業：総額28,635千円 本県経済をけん引するものづくり産業を支える人材の育成・確保に向け、県内各地域において産学官で構成する地域ものづくりネットワーク等が中心となり小学生から企業人までの各段階に応じた人材育成に取り組むとともに、県内外の学生・生徒に対し岩手県のものづくり企業に対する理解促進に取り組む。 (1) 小中学校対象（教員・保護者含む） 823千円 ・理工系の女子大学生やものづくり企業の女性社員と連携したものづくりイベントの開催（講師謝金・旅費420千円、参加者保険料45千円、材料費及び周知チラシ作成費108千円） ・地域産業や企業を知るための出前授業・企業見学会（講師謝金・旅費250千円） (2) 高校対象（教員・保護者含む） 13,015千円 ・工業高校の技能講習会、普通高校のものづくり体験授業（講師謝金・旅費690千円、バス使用料84千円） ・地域産業や企業を知るための出前授業・企業見学会（講師謝金・旅費103千円、バス使用料12,138千円） (3) 高等教育機関対象 900千円 ・地域産業や企業を知るための企業見学会（バス使用料900千円） (4) 体制整備 13,897千円 ・いわてものづくり産業人材育成会議（本県の産業人材育成体制を構築するための産学官の有識者を集めた会議）の開催（委員旅費56千円、会場使用料26千円） ・各地域へのものづくりネットワークコーディネーターの配置（コーディネーター謝金・旅費13,815千円）	28,635	
				雇用応援プロジェクト【農業分野の移住・就農】 いわて移住・雇用就農促進事業：総額2,964千円（委託費） 雇用拡大を希望する農業法人等を対象に、業務内容、雇用条件、希望する雇用人数等に係るリストを整備した上で、県外から移住、県内での就農を希望する者とのマッチングを行うとともに、マッチング事例集を作成する。 雇用就農マッチングに係る委託費（2,964千円）※委託先：キャリアバンク(株) 人件費1,714千円、募集・周知広報経費21千円、その他事務運営費等1,229千円	2,964	

事業名	事業期間	R7年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途（申請時点）	対象経費 (千円)
半導体関連人材育成推進事業	R6-8年度	16,197	8,098	2025年度に開所予定の半導体製造装置を備えた人材育成施設を活用しながら、産学官が連携し、地域企業の特性とニーズに合った半導体関連人材の育成・確保を推進するため、「半導体関連企業の在職者や参入を希望する地場企業の従業員を対象とした人材育成研修の開催」、「大学・高専等と県内企業等が連携した企業見学や実習等の実施」及び「小中高生等を対象とした分解展示・出前講座等による、ものづくり・半導体関連産業等を知る機会の創出」の取組を行う。また、安定した人材確保のため、外国人材と企業のマッチング機会を創出する。 【事業実施体制】 （公財）いわて産業振興センターに委託し、事業を実施。	半導体関連人材育成推進事業 委託先：（公財）いわて産業振興センターへの委託 産学官が連携し、地域の企業の特性とニーズに合った半導体関連人材の育成・確保：16,197千円 (1)半導体関連企業の在職者や参入を希望する地場企業の従業員を対象とした人材育成研修の開催【社会人】 半導体関連企業の在職者や参入を希望する地場企業の従業員を対象に、産学及び半導体製造装置を用いた「半導体製造装置エンジニア」等の育成研修を実施する。研修コースは、初級者共通プログラムや企業の要望に基づくオーダーメイドプログラムを中心に、ポリテクセンターの設備を活用しながら効果的なプログラムを実施する。 (2)大学・高専等と県内企業が連携した企業見学や実習の実施【大学・高専等】 半導体製造装置を活用しながら、大学・高専等を対象としたインターンシップや技術研修会を行うとともに、企業見学会や講座を実施することで、地域における半導体関連産業の認知度を高め、次世代を担う人材の育成及び確保を図る。 (3)小中高生を対象とした分解展示・出前講座による、ものづくり・半導体関連産業を知る機会の創出【小中高生】 小中高生の未来のものづくり人材を含む幅広い層を対象として、半導体の分解展示や出前講座の実施を通じて、ものづくり産業を身近に感じてもらう機会を創出し、半導体の興味・関心の向上を図る。 （対象経費） インストラクター人件費（人材育成施設で実施するカリキュラムの構築、指導、企業・学校訪問）、実習用消耗品（研修用ウエハ、クリーンスーツ一式、教育実習用基板、装置模擬部品、窒素ガス）、教材作成（印刷製本等の教材作成代）、会場使用料、設備利用料、講師謝金、オンライン講座使用料、バス借り上げ料（学生が企業見学会や実習に参加するための費用）	16,197
若者から選ばれる企業への転換推進事業	R7-9年度	25,435	12,717	県内企業がデジタル技術やロボットの活用などによる省人化・省力化、そして生産・サービスの高付加価値化（高収益化）、さらには誰もが自己実現や多様な働き方ができる職場環境の構築などの支援に取り組み、労働生産性・労働環境・賃金を一体的に改善し、併せて、県内企業ひいては本県で働き暮らすことの魅力を発信することで、企業イメージや働く場としての本県のイメージの向上、個々の企業の採用力強化などに繋げ、若者・女性から選ばれる岩手の実現を目指す。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・（地独）岩手県工業技術センター ・関東広社 ・㈱オリンピア企画 ・富士通Japan株式会社	若者・女性に選ばれる企業への変革 ～生産性向上、労働環境の改善と多様な働き方の実現～ (1) 学生と連携した企業課題の解決支援【502千円】 若者・女性に選ばれる企業となるために、県内企業が抱える課題について、県内と東京圏に居住する学生が有識者とともに、具体的な課題・改善策を議論・提案し、企業の魅力・採用力の向上や多様な労働環境の整備を促進 有識者謝金：132千円、大学生謝金：94千円、有識者・大学生旅費：146千円、会場等使用料：130千円 ＜実施内容＞ テーマ：県内企業が若年女性に選ばれる企業になるためには＞ ア 事前研修（各有識者からワークショップ前にミニ講座） イ 対象企業から取組状況や課題等を説明 ウ 学生が企業へのヒアリングやディスカッションを通して課題を深堀りし、学生目線による提案をとりまとめ発表 エ 有識者は適宜助言の上、発表聴取後に講評 オ 対象企業は学生からの提案や有識者からの意見を基に、社内制度の改正や企業HPや採用活動の見直しに着手 (2) 企業課題解決に向けた人材育成【5,799千円】 県内企業の中で、生産性・付加価値価値向上の要望がある事業者を対象とし、企業が持つ課題解決のための実践型人材育成を実施 ※委託先：（地独）岩手県工業技術センター 人材育成に使用する消耗品・原材料費 1,561千円（例：製品ハンドリングに向けた協働ロボットの活用技術の習得 →3Dプリンタ用樹脂材料、グリップ材料（ゴム、スポンジ、ステンレス等）、機械加工用工具、圧力センサー、ロードセル、カメラ、制御・電源ユニット、配線部品 等 ※企業 ニーズにより、消耗品・原材料の内容は変更となるもの スタッフ人件費 4,238千円 (3) 中小企業デジタル化支援【5,296千円】 ア 中小企業デジタル化支援専門家の派遣 1,101千円（補助先：（公財）いわて産業振興センター） 経営に対する深い理解とデジタルツール利用の両方に精通した専門家を派遣 専門家人件費・旅費及び補助先職員の旅費 1,101千円 イ 中小企業デジタル化推進ワークショップの開催 4,195千円（補助先：（公財）いわて産業振興センター） 県内中小企業者で生産性向上のためのデジタル化に取り組みたい事業者を対象とし実地開催。現在の経営課題等を整理することで適切なデジタル化を実現するための手法を習得するためのワークショップを開催 ワークショップ開催費用、専門家人件費・旅費及び補助先職員の旅費 4,195千円	11,597
					(1) 企業課題解決に向けた人材育成（備品経費）【3,245千円】 県内企業の中で、生産性・付加価値価値向上の要望がある事業者を対象とし、企業が持つ課題解決のための実践型人材育成を実施。企業のデジタル技術の習得支援のほか、1年目に企業ニーズの高い協働ロボットを導入し、有効に活用できる人材の育成を実施（委託先：（地独）岩手県工業技術センター） ・協働ロボット（アーム型ロボット）購入費 3,245千円	
					若者・女性に選ばれる産業集積エリアの形成と魅力の発信 ～都会と地方のアンコンシャス・バイアスの払拭～ (1) 北上川流域（北上川バレーエリア）の情報発信【2,184千円】 ※委託先：関東広社 若者・女性が持つ都会と地方のアンコンシャス・バイアスを払拭しながら、学生等の将来的な県内就職・ＵＩＪターンを促進するため、自動車・半導体を中心とする北上川流域の産業集積、豊かな自然と利便性の高い生活環境などのエリアの魅力、そこで暮らす人々の充実した生活や人生の豊かさ等を、SNS等により総合的・効果的に発信 委託料：2,184千円（SNS等コンテンツの制作費、広告費 等） (2) 地場産業（縫製業・漆産業）の振興とその未来を担う人材の確保・育成【5,982千円】 県北を中心とする、縫製業・漆産業といった特色ある地場産業について、若者・女性をメインターゲットとした人材の確保・育成や産業集積の魅力発信を実施 ア 学生と連携したプロモーション（4,788千円） アパレル製品に係るプロダクトデザインを公募し、県内縫製企業の協力を得て、入選作品を具現化 学生と県内縫製企業が連携したプロダクト制作を通じ、若者の縫製分野に対する興味関心を高めるとともに、県内縫製企業の高い技術力と働く場所としての魅力発信を図る 企画コンペ審査員報酬20千円、委託料4,768千円（謝金・交通費、広告費、会場使用料、事務局経費等） ※委託先：㈱オリンピア企画 イ 学生と地場産業事業者との交流（1,194千円） 県内外の学生を対象に、北いわてを中心としたアパレル事業者及び漆関連事業者等において短期実習等を実施 縫製業や漆産業等に従事する若者・女性の活躍や、働きやすい職場環境を発信することによって、県内地場産業事業者の認知度向上・イメージアップを図る 企画コンペ審査員報酬10千円、委託料1,184千円（企画費、広告費、交通費 等） ※委託先：富士通Japan株式会社 (3) 県内産業集積の魅力や県内企業に対する若者の理解の促進【2,427千円】 県内企業の人材確保のため、県内高等教育機関の授業を活用し、若年層の資金向上や生産性向上、働き方改革等に取り組んでいる県内企業の紹介を通じて、県内の産業集積や県内企業で働く魅力等の理解を促進 委託料：2,427千円（学校・企業との打合せ、講師旅費・謝金、事務的経費等） ※委託先：富士通Japan株式会社	3,245
						10,593

事業名	事業期間	R7年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途（申請時点）	対象経費 (千円)
地域資源を生かした稼ぐ観光推進体制構築事業	R7-9年度	58,339	29,169	国内外からの観光誘客のさらなる促進を図るため、地域の受入体制整備を進めるとともに、みちのく潮風トレイルをジオ・ツーリズムのコンテンツとして包含する三陸ジオパークや、県内各地の農山漁村におけるグリーン・ツーリズムといった、県内の多種多様な観光コンテンツに加え、県内各地の特色ある伝統工芸品や食品など、本県の地域資源を最大限に生かし、岩手ファンや多様な形で若手と継続的に関わる人々を国内外で拡大させ、県内の広範な産業に対して経済波及効果が持続的にもたらされるよう、稼ぐ観光地域づくりを進める。 【事業実施体制等】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・㈱I B C 岩手放送 ・㈱農協観光 ・富士通Japan㈱ ・㈱東広社 ・（公財）フォーリン・プレスセンター ・㈱リアルジャパンプロジェクト ※その他選定中。	三陸地域における受入体制整備 ●観光地域づくりのための総合的なコーディネートの実施【8,924千円】 地域観光関連事業者等と連携して、みちのく潮風トレイルや三陸ジオパーク、防災学習といった三陸地域固有のコンテンツを活用した観光コンテンツの磨き上げや、それらの発信を目的とした旅行会社等との商談会の開催など、地域が観光で稼ぐための総合的なコーディネートを実施 ・観光プロデューサー及び観光地域づくりコーディネーターの配置（負担金8,924千円（人件費8,427千円、諸経費497千円） 拠出先：（公財）さんりく基金（三陸DMOセンター）） ●新たなビジネスモデルの構築に向けた調査研究【7,547千円】 観光産業等の振興を促進していく新体制の構築に向け、組織体制や事業について検討等の取組を実施 (1) 調査・研究に係る（公財）さんりく基金職員の配置（負担金6,427千円（人件費5,969千円、旅費204千円、需用費54千円、役務費8千円、使用料192千円） 拠出先：（公財）さんりく基金） 事業化に係るデジタルマーケティング（データ収集、分析によるマーケティング戦略検討）に関する業務を担当する人材を配置 (2) 検討委員会の設置（負担金1,120千円（委員等謝金713千円、委員等旅費369千円、使用料30千円、需用費8千円） 拠出先：（公財）さんりく基金） 新体制の在り方や調査研究の検討結果などの取りまとめ等を行う委員会の設置・運営を実施 ●三陸ジオパーク活動の推進【9,316千円】 世界ジオパーク認定を見据え、国内外への情報発信機能の強化及び国際ネットワーク活動の取組を推進 (1) 三陸ジオパークパネル展示による情報発信の強化（1,531千円（役務費（配送）105千円・委託料（パネル製作）1,426千円））※委託先：未定 ジオパークの価値や魅力を発信するためのパネルを作成し、連携協定を締結している岩手県立博物館やみちのくトレイルクラブ（宮城県・名取市）の施設で巡回展を開催 (2) 地質遺産の国際的価値付けのための学術情報の整理（1,438千円（報償費（大学教授・学芸員））） 三陸ジオパークの見どころであるジオサイト等の国際的価値付けに伴う論文収集及び概要整理を実施 (3) 他国の世界ジオパーク地域とのネットワーク活動の推進（347千円（役務費（通訳）320千円・使用料（会場）27千円）） 三陸ジオパークの特徴（5億年の多様な大地、大津波の歴史と共生等）と関連が深い世界ジオパークとの連携創出に向けた、他国の世界ジオパークとのオンライン交流の実施 (4) 関係団体等との連携強化によるジオパーク活動の推進（負担金6,000千円（協議会職員人件費、協議会事業費） 拠出先：三陸ジオパーク推進協議会） 青森県や岩手県内・青森県内の沿岸市町村等との連携による、三陸ジオパーク推進協議会の運営を通じ、世界ジオパーク認定に向けた取組をはじめとする様々な活動を展開 ●みちのく潮風トレイルの受入態勢強化【9,907千円】 ・三陸地域における、宿泊、飲食、体験コンテンツ等の情報を収集・整理するとともに、整理した情報をマップに落とし込み各地域の情報の横展開を図り、三陸地域が一体となった受入を行うための認識共有を実施。加えて、国内のハイカー向けにスポーツショップを利用し、みちのく潮風トレイルの情報発信を実施（委託料：9,907千円（トレイルに関する地域情報の収集・整理、マップ作成、情報発信業務）） ※委託先：㈱I B C 岩手放送	35,694
					農山漁村におけるグリーン・ツーリズム受入体制整備 ●広域連携による教育旅行等受入体制の整備【2,537千円】 各種観光データを集約・分析するシステム（「いわて観光データマネジメントプラットフォーム（DMP）」を活用したマーケティング分析（来県者の年齢・行き先等）を基に、広域連携の取組モデル候補地区を調査し、1地区を選定。その後、広域連携取組モデル候補地区を対象とし、ワークショップ等による広域連携計画策定を支援 ・広域連携による教育旅行等受入体制の整備支援（委託料2,537千円（マーケティング分析、モデル地区調査・選定、ワークショップ開催）） ※委託先：㈱農協観光 ●農山漁村の地域コミュニティの活力維持【1,100千円】 農山漁村の小集落を対象に、地域コミュニティの活力維持に資する取組の実施を支援 (1) 買い物・通院等移動支援等に係る事例研究やフォーラム等の開催、モデル構築支援（770千円（報酬87千円、報償費320千円、旅費298千円、需用費6千円、使用料59千円）） 移動手段の確保が困難な地域において、移動支援等の支援策のフォーラム開催等により市町村と情報共有・事例研究を行うとともに、移動支援策等の進め方について助言を行う専門家を派遣し、モデル構築を支援 (2) 地域の賑わい再生に向けた住民等ワークショップ、検討会の開催等（330千円（需用費86千円、委託料240千円（ワークショップ運営人件費、チラシ制作費等）、使用料4千円）） 地域の拠点となる施設を活用し、縮小傾向にある地域行事・イベントを住民や民間企業と再興することで、地域の賑わい再生や関係人口の創出を図る	3,637
					観光産業の担い手確保の推進 ●県外の若者と県内観光関係事業者とのマッチング及び本県の観光や観光業の魅力発信（地域の魅力発信）【3,250千円】 県外の学生等の若者を対象とし、本県の観光関連事業者とのマッチングによりワーキングホリデー（「バイトしながらいわて旅」）を実施するとともに、参加者がワーキングホリデーによるアルバイト業務の一環として「地域の魅力発信」をSNSで実施することで、県外の若い世代へのさらなる情報発信を図るとともに、地域のキーマンを「地域コンシェルジュ」として委嘱し、休日の観光や地域の魅力を発信するほか、地域の企業や地域の特色ある産業について県外の若者等へ紹介 ・観光業就業体験プログラムの運営等（委託料3,250千円（プログラムの企画、参加者の募集、当日の運営）） ※委託先：富士通Japan㈱ ●本県の観光や観光業の魅力発信（動画配信等）【2,156千円】 若い世代や県外在住者を対象に、地域の魅力を伝え、本県への関心を持たせるため、動画の制作・配信（SNS）を行うとともに、動画のファンが自ら動画や本県の情報を拡散したくなるような仕組みを構築 ・若者向け魅力発信動画の制作・配信及びSNSを活用した発信（委託料2,156千円（動画制作、イラスト作成、SNS運用）） ※委託先：㈱東広社	5,406
					観光消費額の拡大に向けた取組の推進 ●インバウンド消費拡大の推進【6,104千円】 (1) 海外メディアを活用した地場産業の魅力発信（2,965千円（委託料（海外メディア向けツアー企画・コーディネート費、ツアー広報費、記者旅費等）2,955千円、報酬10千円）） ※委託先：（公財）フォーリン・プレスセンター 本県地場産業の魅力を海外メディアと連携し発信することで、海外ニーズの把握や新たな価値発見の機会としつつ、事業者と海外関係者との信頼関係の構築を図り、将来的な本県産業の海外展開やインバウンドを取り込んだ継続的なマーケット拡大に繋げる (2) 国際見本市への出展（3,139千円（委託料（企画費、出展費、ブース設営費、販促物制作費等）3,121千円、報酬（企画コンベン審査員）10千円、使用料8千円）） ※委託先：㈱リアルジャパンプロジェクト 海外向け・インバウンド客向け商品を扱うバイヤーが来場する首都圏での国際見本市へ出展することで、インバウンド市場における県内工芸事業者の認知度向上を図り、当該市場における新規販路開拓を支援 ●クルーズ船の誘致・受入体制整備【7,498千円】 クルーズ船寄港拡大に向けたプロモーション等を実施 (1) 寄港誘致（初寄港・再寄港）（6,065千円） ①クルーズ船寄港受入対応費（2,741千円（委託料（寄港時誘導員配置）1,499千円、使用料（寄港受入時テント設置）133千円、負担金（外国人通訳案内）1,109千円）） 乗客や船社等が安心して寄港できるように受入体制を構築することで、初寄港や再寄港を促進 ②FAMツアー開催経費（3,324千円（委託料））（委託料内訳：招請に係るツアー企画、添乗員、貸切車両、招請する者の旅費、入館・体験料等） ※委託先を選定中 船社やランドオペレーターのキーマンを県内に招請し、寄港地の魅力を直接体感してもらうことで、寄港地決定に繋げる (2) 受入体制の強化（1,433千円） クルーズ船誘致拡大等に向けた研修会開催・クルーズ船誘致アドバイザー招請（1,433千円（報償費726千円・旅費707千円）） 事業者や市町村職員を対象として、寄港時のおもてなしやツアーコンテンツの充実化に向けた研修会を開催するほか、アドバイザーの招請により受入体制・寄港誘致を強化	13,602

事業名	事業期間	R7年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途（申請時点）	対象経費 (千円)
若者から選ばれる地域づくり推進事業	R7-9年度	51,971	25,985	歴史や文化を学ぶ機会創出や地域資源を活用したイベントや活動を通じて若者の地域への理解と愛着を深め、地域全体の連帯感を強化し、若者が安心して生活できる環境を整えとともに、若者が活躍できる場の提供により地域の魅力を高めることで、若者から選ばれる豊かな岩手の実現を目指す。	先人や岩手出身の著名人、文化を活用したプロモーション	2,866
					・県人の活躍を称えるパネルを作成し、全小学校へ配付（委託料（制作費、配送費））：1,045千円 ※委託先：川崎印刷㈱	
					・ホームページを活用した岩手の歴史や魅力の発信（委託料（保守管理費、サーバー利用料））：380千円 ※委託先：川崎印刷㈱	
					・県出身者等著作の岩手県150年のあゆみを表現するイラスト制作し、プロモーション展開（委託料（制作費、デザイン料））：1,059千円	
					・県内高校生がデザインしたロゴマークシールを作成し、特産品等に貼付しPR展開（シール印刷経費）：382千円	
					高校と連携した取組	21,152
					【事業実施体制等】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・川崎印刷㈱ ・（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム ・㈱ATOMica ・㈱ジェイアール東日本企画 ・特定非営利活動法人いわて連携復興センター ・㈱東広社 ・㈱岩手日報広告社 ※その他選定中。	
					(1)市町村の取組および県立高校の協働体制の運営等に対する伴走支援【7,340千円（報償費：98千円、交通費：722千円、委託料（人件費、交通費、会場使用料等）：6,197千円、使用料：323千円）】 ※委託先：（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム ・地域連携コーディネーターの育成・配置・活躍支援 ・市町村が設置する「地域連携コーディネーター」の募集・採用・配置の支援、コーディネーターの受入れ高校に対する体制整備に係る助言・調整、コーディネーターに対する研修 ・県立高校の探究的な学び等の取組に対する伴走支援 ・3カ年で取組が進んだ各県立高校の探究的な学び等に関して、魅力化アドバイザーが助言支援等を実施 ・優良事例の共有 ・小規模校や専門高校における探究活動等の成果を発表する場を設け、他校の優良事例の導入を促すなど、探究的な学びの活性化を図る。 (2)地域等の関係者と連携・協働した探究的な学びの推進【13,812千円（報償費：3,190千円、交通費：1,445千円、需用費：1,910千円、役務費：605千円、使用料及び賃借料：6,662千円）】 ・地域への愛着の醸成に向けた県立高校における探究的な学びの実施に係る経費を支援するもの。 (取組の例) ●地域や地域産業の理解講座 ●社会人による進路講演会 ●伝統技能・芸能・郷土料理等の継承講座●地域や地域産業等の抱える課題等の解決を図る授業 ●地域人材等から専門知識・技術を身に付けるための講義等 ・事業計画・予算計画を精査し、各校の探究学習が生徒の資質・能力の向上につながるよう助言 ・地域と連携した取組を実施するにあたり、地元自治体、教育・まちづくり等に関する団体、地元事業所・企業、大学等の関係機関との意見交換・協議等の場の設定に係る経費	
					複業等を通じた地域活性化	7,299
					・岩手と関わりを持ちたい首都圏の若者等と、人手不足等の課題を抱える県内企業や団体のマッチング及びそのコーディネート等を実施【6,111千円（委託料（企画費、人件費、謝金、交通費、広告費、会場費、事務的経費等））】 ※委託先：㈱ATOMica	
					・全県的な市町村主体の関係人口施策の展開に向けて、市町村への情報共有を図り、関係人口に係る施策展開を促進するセミナーを開催。【380千円（セミナー講師等の謝金152千円、旅費195千円、会場使用料33千円）】	
					・関係人口に取り組む団体や二地域居住実践者、協力隊員、移住者等を中心とした関係人口の事例の発表や共有の場を創出。【808千円（委託料（企画費、人件費、謝金、交通費、広告費、会場費、事務的経費等））】※委託先：未定	3,528
					帰省を契機としたプロモーションによる担い手の確保	
					帰省時期に、「県外からの帰省者（＝Ｕターン予備軍）」に対し、本県へのＵターンを働きかける取組みを実施するもの ※委託先：㈱ジェイアール東日本企画	850
					・県外在住の帰省者を対象に帰省の玄関口（県内主要駅等）での情報発信：2,071千円（委託料（人件費・会場費等））	
					・首都圏在住者を対象に本県へのＵターン促進と県就職情報マッチングサイトの登録等を促進するWEB広告の配信：1,457千円（委託料（配信費・制作費等））	
					アンコンシャス・バイアスの解消	16,276
					人口減少の危機感を県民や事業者等と共有し、オールいわてで若者・女性を支える気運が醸成されるよう、「（仮称）岩手県人口減少対策フォーラム」を開催し、男女間・世代間・地域間のアンコンシャス・バイアスを解消するとともに、子ども・子育てにやさしい地域づくりや自己実現・多様な働き方ができる職場環境づくりに向けて、官民が一体となって対応していくことを確認・発信する。	
					・会場使用料：310千円、開催チラシデザイン費：200千円、講師謝金：122千円、講師旅費：130千円、チラシ作成及び印刷費：81千円、チラシ郵送料：7千円	
					若者が活躍できる環境づくり	
					いわて若者カフェによる若者の活躍支援のほか、県内の若者活動交流拠点の中から連携拠点を指定し、いわて若者カフェが同拠点の活動支援を行うことで、若者が身近な地域で交流・相談できる環境整備を進めるとともに、岩手で活躍する若者の活動内容等を広く発信する。	
					(1)いわて若者カフェ（県が設置・運営している若者活動交流拠点）を核とした若者活躍支援体制の構築 【委託料7,232千円（企画運営費、会場使用料、謝金等）】 ※委託先：特定非営利活動法人いわて連携復興センター	
					○若者活動交流拠点におけるイベント、交流会の開催のほか、若者の活動相談支援に係る経費	
					○新たに指定した連携拠点の運営支援のほか、拠点及び取組の認知拡大に係る情報発信経費	
					(2)若者交流イベントの開催経費【委託料6,044千円（企画運営費、会場使用料、謝金等）】 ※委託先：㈱東広社、㈱岩手日報広告社	
					○岩手で活躍する若者の活動内容を県内外に発信するとともに、若者の意見を施策に反映する機会を創出する。	
					○高校生の探究型学習イベント等と連携し、若者による構想や活動等の発表機会を創出するとともに、岩手で活躍する若者の活動内容をオンラインでも広く発信する。	
					(3)若者の活動に対する資金および人的支援【補助金3,000千円】	
					・補助目的（戦略性）：岩手の地域づくり・復興を担う若者の主体的活動の機会を創出する。	
					・補助対象となる者：非営利目的の若者団体	
					・補助対象：若者団体が行う地域の課題解決や地域の元氣創出に資する事業に要する経費（但し、食糧費、備品購入費、事務局経常費等は補助対象外とする）	
					・補助内容(予定)：上限300千円×10件 + 伴走支援(経費は上記(1)に計上)	

事業名	事業期間	R7年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途（申請時点）	対象経費 (千円)
気候変動等に適応した持続可能な農業・水産業推進事業	R7-9年度	50,396	25,198	夏期の高温等に適応した米の新品種開発、地域の気象条件に応じた収益力が高い園芸作物の産地形成を進めるとともに、高水温等に強い県産サーモンの安定生産体制の構築を図ることにより、気候変動に適応した持続可能な農業水産業の実現を目指す。	夏期の高温等に適応した米の新品種の開発 高温登熟耐性水稻品種開発加速化プロジェクト ①二期作が可能な沖縄県との連携による高温登熟耐性を有する有望な系統の選抜【2,500千円】 ・高温登熟耐性を有する有望な系統の系統選抜、生産力検定試験に係る沖縄県への委託料：2,500千円 ※委託先：沖縄県農業研究センター ②県農業研究センター内ほ場への高温登熟耐性検定施設【32,642千円】 ・高温登熟耐性検定施設（ビニールハウス1棟）施設整備に係るハウス本体工事費、設備工事費（暖房機、電気設備、給排水管設備）	35,142
				【事業実施体制等】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・沖縄県農業研究センター ・（農）リアル ・（農）いさわ南部 ・アンドファーム㈱	地域の気象条件に応じた収益力が高い園芸作物の産地形成 (1)沿岸地域における企業誘致による新たな園芸産地の形成【2,860千円】 ①沿岸市町村と連携した推進体制の整備やモデル市町村における誘致構想の作成 ・誘致推進組織の設立及びセミナーの開催に係る講師旅費、役務費、会場使用料：352千円 ・モデル市町村（陸前高田市、山田町）における誘致構想の作成、企業との交流会、誘致候補企業の選定に係る業務委託（県負担金）：2,508千円 ※実施主体：県及びモデル市町村が参画するコンソーシアム（負担割合：県1/2、市町村1/2） ②内陸地域における水田等の有効活用による園芸作物生産体制の再構築【9,332千円】 ①スマート農業技術等の組み合わせによる高収益園芸作物の生産拡大モデルの実証 ・直進アシストトラクターやドローン等のスマート農業機械を組み合わせた生産拡大モデルの実証に係る委託料：7,356千円 ※委託先：（農）リアル、（農）いさわ南部 ・バイオ炭農地投入の導入実証に係る委託料：848千円 ※委託先：アンドファーム㈱ ②新たな品目の栽培を検討している生産者を対象とした営農戦略の検討や技術研鑽を行う研究会、作付転換の加速化を図る研修会等 ・スマート農業技術の実装に向けた品目別栽培研究会の開催に係る講師謝金、講師旅費、会場使用料：510千円 ・作付転換を誘導する研修会等の開催に係る講師謝金、講師旅費、会場使用料：618千円	12,192
					高水温等に強い県産サーモンの安定生産体制の構築 高品質かつ高水温耐性種苗開発・効率的生産体制構築 ①高水温に強いサクラマスの子種苗開発 ・新種苗開発に係る種苗飼育用配合飼料、資材代：2,383千円 ②サケふ化場等を活用した種苗の効率的な生産体制マニュアルの作成に必要なデータ収集と技術検証 ・データ収集に係るＩＣＴ機器通信端末、ソフトウェア代：71千円 ・溶存酸素ロガー（2台）：608千円	3,062
新たな人の流れの創出に向けた多様な人材確保支援事業	R7-9年度	42,715	21,357	今後の本県農林水産業を支えていく新規就業者の確保に向け、県内外から関心がある人の呼び込みに取り組むとともに、農業における短期雇用人材や外国人材等の多様な担い手の確保に向け、新たな手法の導入や受入体制の整備を図るほか、人手不足の解消と生産コスト低減に向け、スマート農業技術の導入による省人化を図ることなどにより、今後、更に人口減少の進行が予測されている中においても、本県農林水産業の生産体制の維持・拡大を目指す。	本県農林水産業を支えていく新規就業者の確保 ①遠隔地からでも参加しやすいメタバースを活用した就業相談会【2,662千円】 ・メタバースを活用した就業相談会の開催に係る委託料、会場使用料：2,662千円 ※委託先：㈱リプロネクスト ②農林水産業等への就業を志す若者等を対象とした本県での実際の生活を気軽に体験できる家電等を揃えた低額な家賃の住宅貸出【26,920千円】 ・住宅貸出に係る住宅環境の整備（家電等リース）や入退去業務の管理委託料：26,920千円 ※委託先：（一財）岩手県建築住宅センター ③リモート就業体験ツアー【1,728千円】 ・リモート就業体験ツアーの実施に係る委託料、会場使用料：1,728千円 ※委託先：㈱リプロネクスト	31,310
				【事業実施体制等】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・㈱リプロネクスト ・（一財）岩手県建築住宅センター ・（一社）大野畜産公社 ※その他選定中。	農業における短期雇用人材や外国人材等の多様な担い手の確保 ①労働力マッチングアプリの活用等による副業や学生など多様な人材が短期で農業に従事しやすい環境整備【4,213千円】 ・労働力マッチングアプリ運営会社等を講師とした研修会の開催に係る講師謝金、講師旅費、会場使用料：1,119千円 ・モデル地区の設置による労働力マッチングアプリの利用拡大に向けた相談活動に係る委託料：3,000千円 ※委託先を選定中 ・民間企業や大学等との連携による労働力の確保に向けた働きかけに係る資料印刷代：94千円 ②外国人材の活用事例の共有や受入れに向けた就労環境整備、関連法令等に関する知識習得を行う研修会を開催【367千円】 ・研修会の開催に係る講師謝金、講師旅費、会場使用料：367千円 ③外国人材向けの岩手県農業のPR動画の作成・配信【1,677千円】 ・外国人材向けPR動画の作成に係る委託料：1,677千円 ※委託先を選定中	6,257
					スマート農業技術を活用した省力化による人手不足の解消と生産コスト低減 ①ＡＩ等の活用による放牧牛の頭数確認技術の実証【4,400千円】 ・公共牧場におけるＡＩを活用した頭数確認の技術実証に係る委託料：4,400千円 ※委託先：（一社）大野畜産公社 ※実証に用いるＡＩ関連機器はリース ②ロボットトラクタの活用による協調した飼料生産作業の実証【748千円】 ・ロボットトラクタ2台の協調した飼料生産作業（刈取+反転の2台1人作業）の実証に係る委託料：748千円 ※委託先を選定中 ※実証に用いるロボットトラクタはリース	5,148
地場産業の高付加価値・販路開拓推進事業	R7-9年度	28,243	14,121	加工食品や伝統工芸品等の高付加価値化や海外販路の開拓・拡大を図るため、消費者ニーズの変化に対応した商品開発や海外へのプロモーションや県内事業者の海外マーケットへの展開を支援することで、人口減少下における地域資源を生かした産業の振興（地方経済の活性化）を目指すもの。	食品産業の高付加価値化（新商品開発）に向けた取組 (1) 本県食産業振興プラットフォーム「FCP岩手ランチ」で、ビジネス交流会、セミナー、事業者間連携、情報交換等による新ビジネスの創出などBtoBのマッチング支援を実施。 また、（公財）いわて産業振興センターに農商工連携推進員を設置し、農商工連携の促進を図り、フォローアップ案件の洗い出し等を実施。 ・産業創造アドバイザー報酬費7千円、セミナー・交流会開催に係る資料印刷用紙代等66千円、セミナー・交流会開催に係る郵送代等68千円、農商工連携促進推進員委託料1,857千円、セミナー・交流会等開催に係る会場使用料71千円 ※委託先：（公財）いわて産業振興センター (2) 企業や新商品・新サービスの開発等に取り組む事業者等に対し、産業創造アドバイザーによる個別訪問指導・講演会を行い、品質管理指導から付加価値の高い商品開発・加工・販売までの総合的な支援を実施。 ・産業創造アドバイザー報酬費521千円、セミナー資料印刷用紙代等6千円、セミナー等開催に係る会場使用料26千円	2,622
				【事業実施体制等】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・（公財）いわて産業振興センター ・サッポロビール㈱ ・㈱JTＢ盛岡支店 ※その他選定中。	加工食品、工芸品等の輸出推進に向けた取組 (1) 知事による県産品トップセールス及び県産品フェア等開催事業【22,358千円】 県産品の輸出力強化・海外への販路拡大を図るため、「いわて国際戦略ビジョン」で日本酒を含む加工食品の重点市場と位置付けている米国において、現地バイヤーや在外公館等と連携し、トップセールス経費及び県産品フェア等を開催するもの。 トップセールス経費 旅費5,197千円（知事及び随行のみ）、レセプション等運営委託料13,306千円（会場関連費、イベント開催費、人件費、ケータリングメニュー開発費、食材搬送費、管理費）、バス借上げ・添乗員等委託料3,825千円 ※委託先を選定中、報酬29千円 ※委託先：サッポロビール㈱ (2) 東南アジア等バイヤー招へい事業【3,263千円】 東南アジア等からバイヤーを招へいし、県内事業者との商談機会を創出することにより、県内事業者の海外マーケットへの展開を支援するもの。 バイヤー招へい経費 委託料3,234千円（バイヤー渡航費、バイヤー県内旅費、管理費）、報酬（企画コンベンチナリ）29千円 ※委託先：㈱JTＢ盛岡支店	25,621